

ここまで出来たら安心!

おススメの安全対策

■ 住宅用消火器、エアゾール式簡易消火具

天ぷら油に火が付いた時などに、すばやく初期消火をすることができます。台所や寝室を中心に備えておきましょう。



住宅用消火器
エアゾール式
簡易消火具

■ 防炎のエプロン、割烹着など

コンロやロウソクの裸火に、うっかり触れてしまい、衣服に火が燃え移る事故が、毎年数多く発生しています(着衣着火)。防炎加工されたエプロン等を使用すれば、万が一の時の火傷や火事を防ぐことができます。



メモ

●お問い合わせは、お住まいの区を管轄する消防署へお願いします。



「防災・減災」啓発キャラクター
ジジョ

千種消防署 ☎ 764-0119	中村消防署 ☎ 481-0119	熱田消防署 ☎ 671-0119	守山消防署 ☎ 791-0119
東消防署 ☎ 935-0119	中消防署 ☎ 231-0119	中川消防署 ☎ 363-0119	緑消防署 ☎ 896-0119
北消防署 ☎ 981-0119	昭和消防署 ☎ 841-0119	港消防署 ☎ 661-0119	名東消防署 ☎ 703-0119
西消防署 ☎ 521-0119	瑞穂消防署 ☎ 852-0119	南消防署 ☎ 825-0119	天白消防署 ☎ 801-0119

診断日 年 月 日

本日、診断を担当したのは、 消防署 担当： です。

※この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

防火・防災 診断の結果



アドバイスシート

安心安全な暮らしは毎日の習慣から。この冊子を参考にして生活を見直してみましょう。

平成29年度版



よく備えています。

改善しましょう。 ⇒

名古屋市消防局

次の場所を見直しましょう。

場所ごとに気を付けたい項目があります。
次ページ以降を参考にして改善していきましょう。

寝室

- たばこ
- 暖房器具
- 電気器具
- 住宅用火災警報器
- 家具の固定



様宅



階段

- 住宅用火災警報器
- 救急事故



台所

- コンロ
- 電気器具
- 住宅用火災警報器
- 家具の固定



その他

.....
.....
.....

リビング

- たばこ
- 暖房器具
- 電気器具
- 救急事故
- 家具の固定

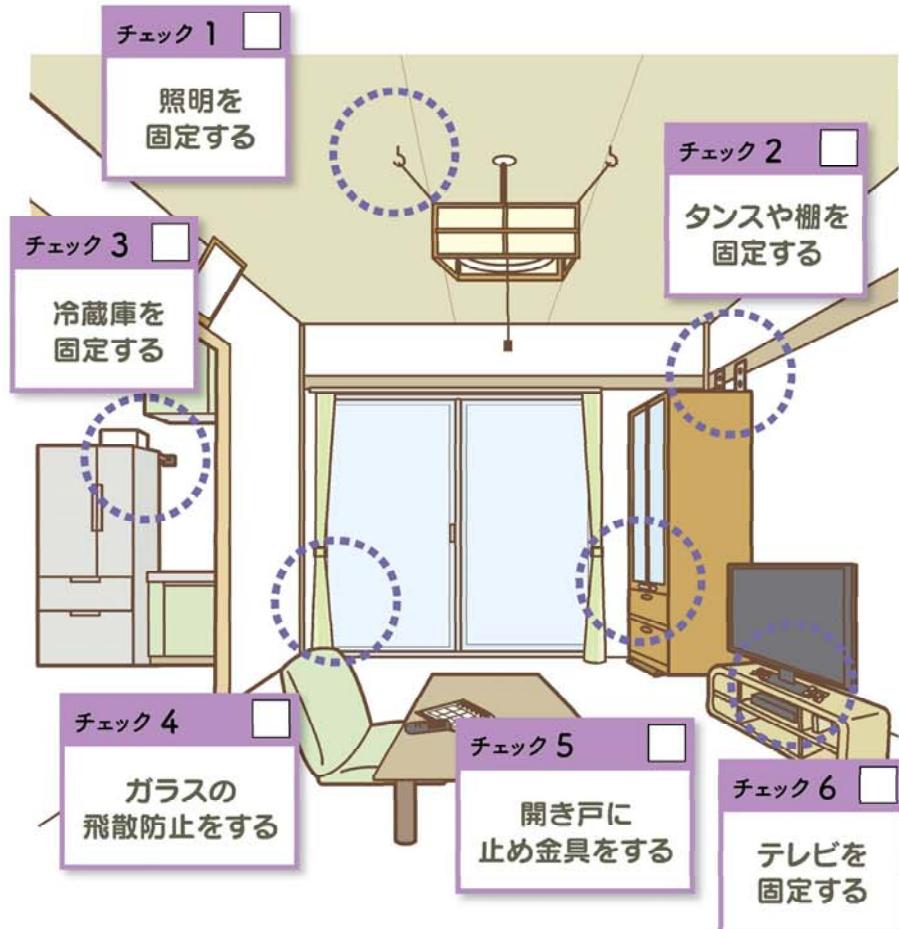


地震対策 (家具の固定)

南海トラフ巨大地震では、市内に震度5弱～7の揺れがあると想定されています。家具を固定し被害を少しでも軽減しましょう。

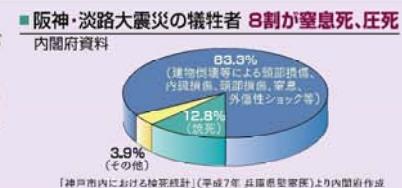


ここに
気を付け
ましょう。



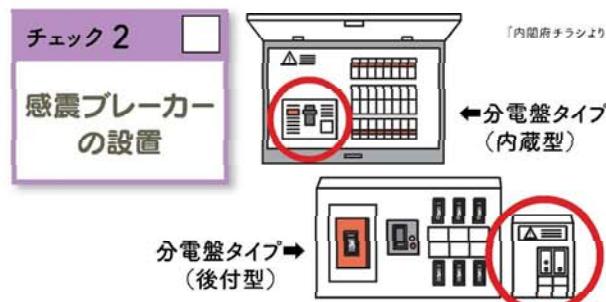
過去の災害による教訓

地震による強い揺れで家具が倒れ下敷きとなってしまった。大ケガをし、身動きも取れなくなってしまった。



地震対策 (地震火災対策 避難行動)

地震が発生した際、火事を起こさない起きても小さな火のうちに消すことができるようにしておきましょう。また安全な避難のための準備をしましょう。



感震ブレーカーの設置の留意事項

感震ブレーカーを設置した場合、機器の作動により人工呼吸器等の医療機器や避難用照明、情報収集用のテレビなどの使用ができないなくなるおそれがあります。それらの点を踏まえ、住環境に合ったものを設置するようにしましょう。



過去の災害による教訓

【阪神・淡路大震災の事例】電気による火災が約3割(85件)と最も多く、電気ストーブや観賞魚用ヒーターからも火災が発生しました。



住宅用 火災 警報器

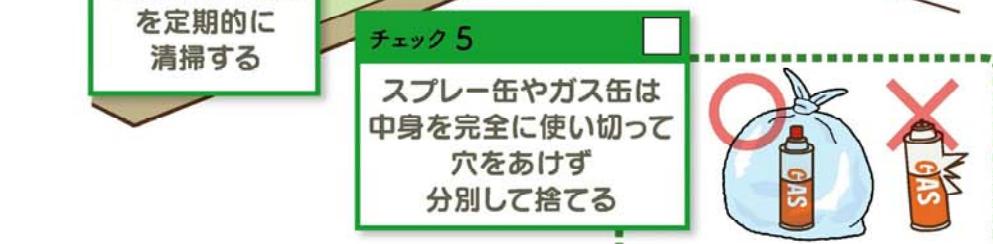
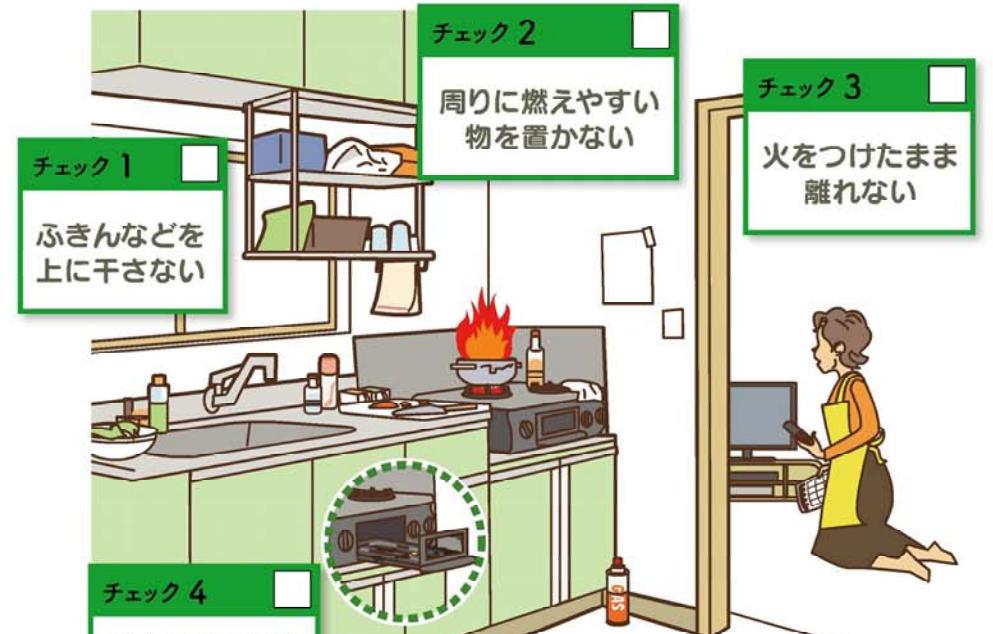
火災の発生を早期に発見できる住宅用火災警報器は、すべての住宅で設置が義務付けられています。また、住宅用火災警報器は古くなると火災を感知しなくなる恐れがあります。10年を目安に交換しましょう。



ここに
気を付け
ましょう。

火を付けたことを忘れてしまうこともあります。少しの時間であっても台所を離れる時は、必ず火を止めましょう。

コンロ



よくある
事例

うたた寝をしてしまった時、ストーブと毛布が接触して火が付いてしまった。しかし、立ち昇った煙に住宅用火災警報器が反応したため、目が覚め消火することができた。



よくある
事例

お湯を沸かそうと鍋を火にかけたところ、他事をしている間に、火にかけたことを忘れ外出してしまった。空焚きとなった鍋により火事になった。



暖房器具

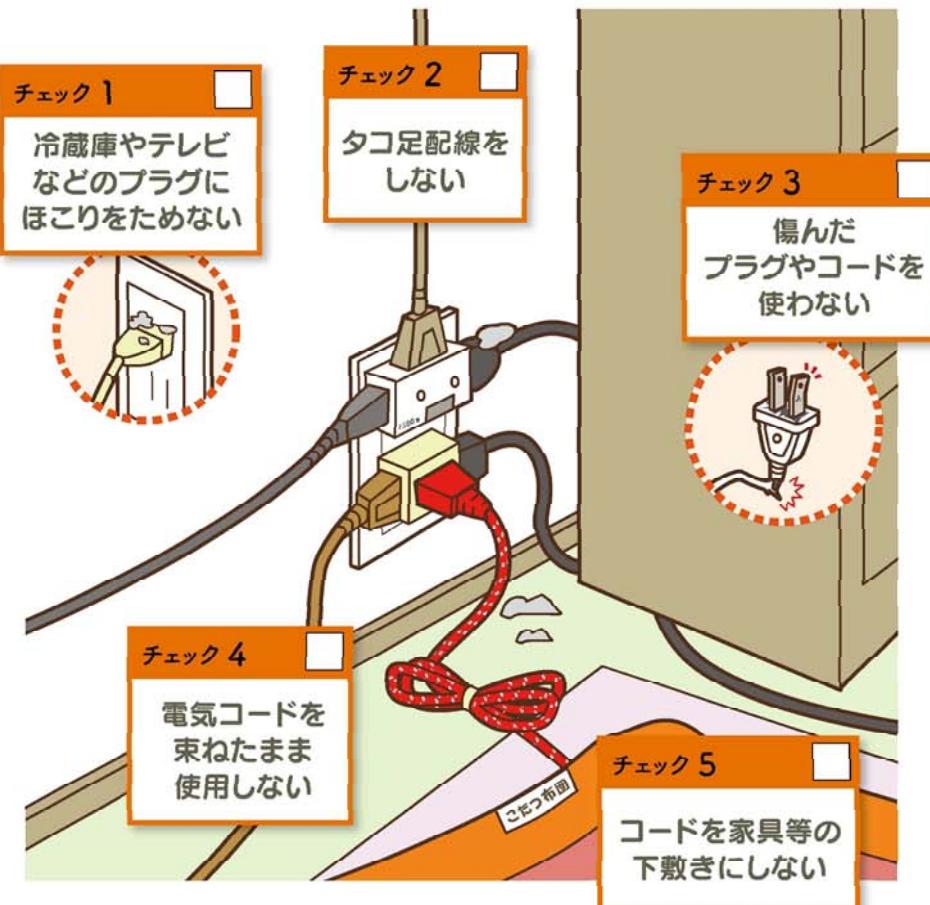
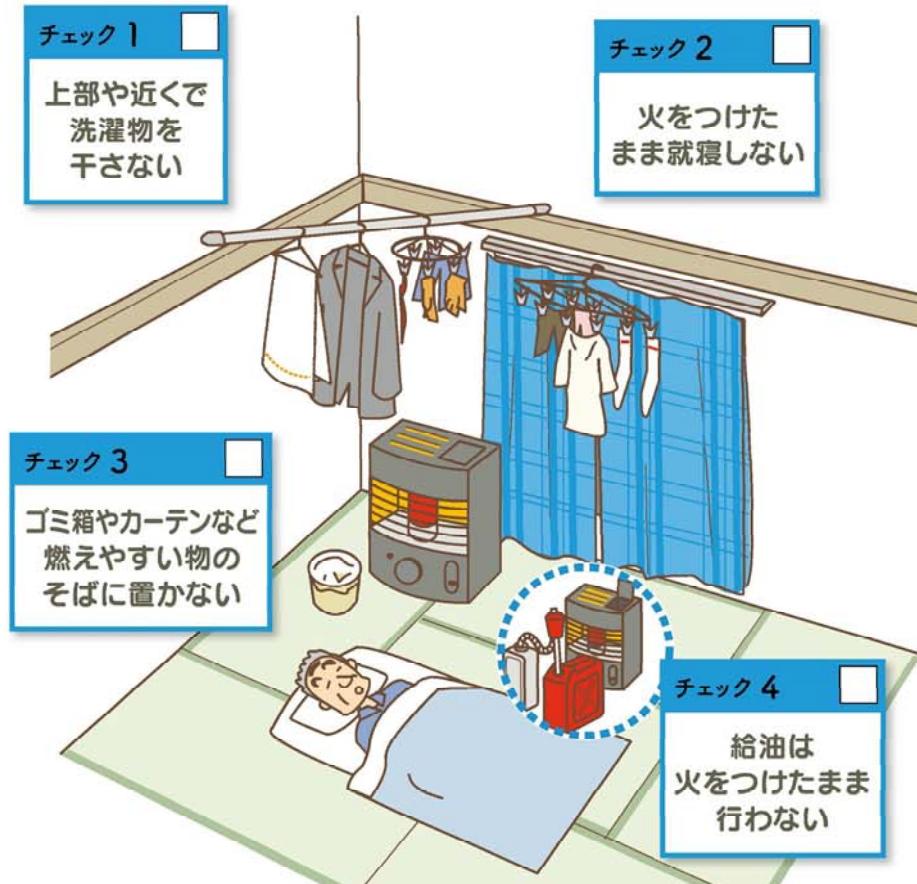
暖房器具にカーテンや洗濯物が触れることが出火することがあります。近くに置かないようにしましょう。



ここに
気を付け
ましょう。

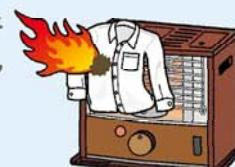
電気器具

電気は熱を発生させます。コンセントは決められた容量の中で使用しましょう。プラグは定期的に掃除して、トラッキングを防ぎましょう。



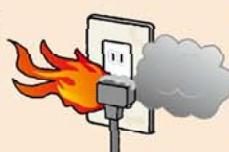
よくある事例

洗濯物を乾かそうとして、ストーブの上に干しておいた洗濯物がストーブの上に落下し火事となった。



よくある事例

テレビのうらのプラグにはこりがたまっていたため、トラッキング現象が起こりコンセントから火花が散り、附近のゴミに着火、火事となった。

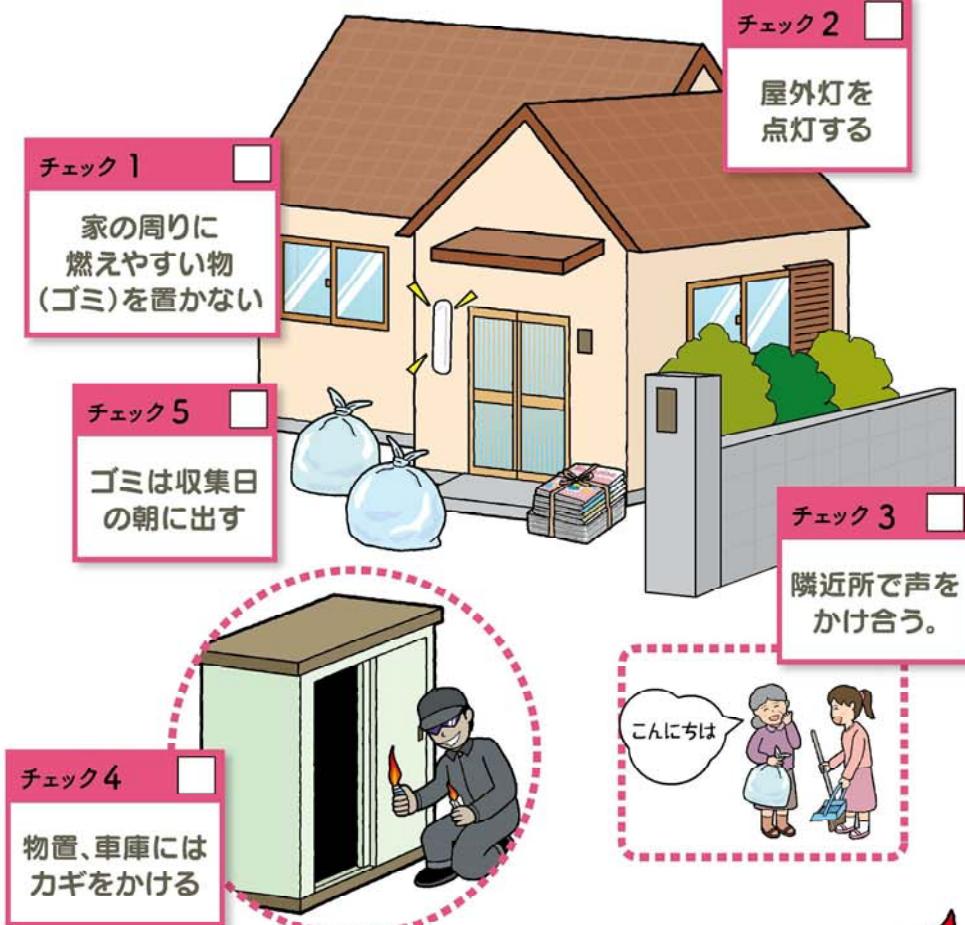


放火 対策

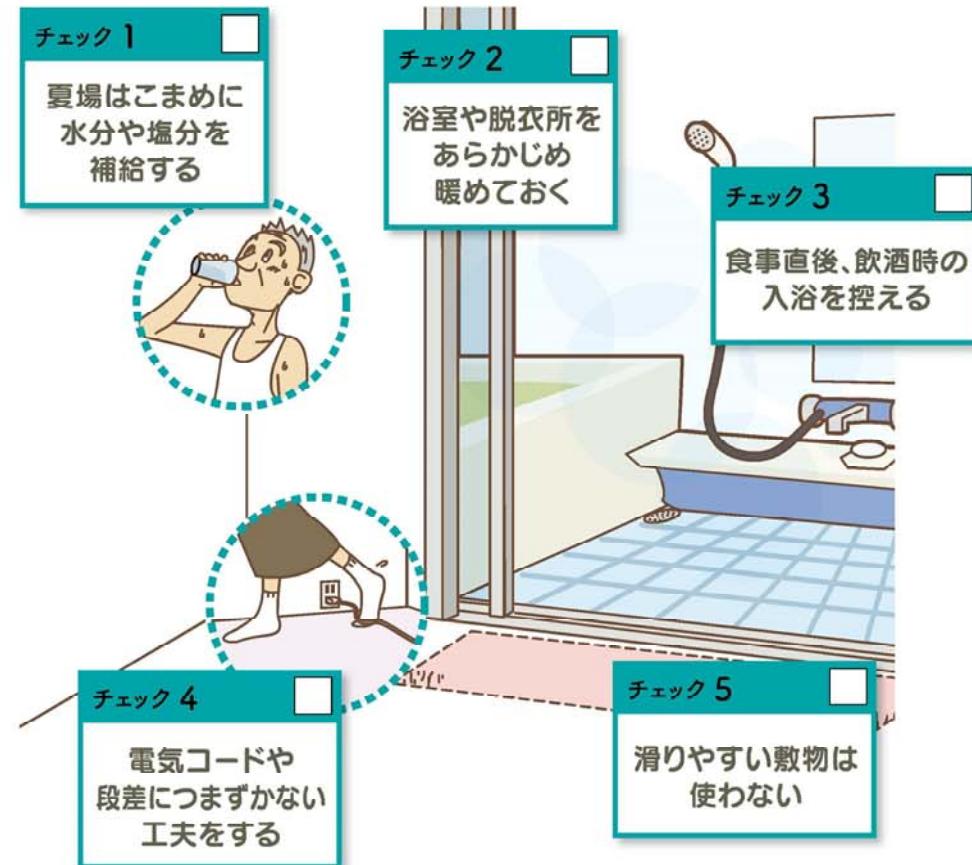
放火火災は、深夜に多く発生し、人目のつかないところが狙われます。対策を行うことで、放火を抑止しましょう。



ここに
気を付け
ましょう。



住宅の裏にある施錠されていない物置に侵入し物置の内部に放火され火事になり、隣接した住宅にも被害が発生した。



部屋の敷居につまずき転倒してしまった。転倒した際に体を強打し、腕や脚を骨折、重症化してしまうこととなった。



救急 事故

救急事故の多くは、住宅の中で発生しています。普段から身の周りの危険を確認し、救急事故の防止に心がけましょう。